

第3回 公立幼稚園・保育所のあり方検討委員会 会議報告

日時	令和2年11月9日(月) 13時00分~14時00分
場所	愛荘町役場 愛知川庁舎 第4会議室
出席名	(出席者) 検討委員 8名 事務局(子ども支援課) 5名 (教育振興課) 2名
会議内容	<p>1 開会 事務局</p> <p>2 あいさつ 委員長</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 保育・教育量の見込推計 資料1のとおり</p> <p>【事務局】前回、最大値も推計できればとご意見をいただいたが、高位推計では実績値との乖離が大きくてため、中位推計で考察し直した。</p> <p>(2) 基本的な考え方 資料2のとおり</p> <p>(質疑・意見)</p> <p>【委員】子どもが減少する中で、公立が3園も必要なのかということも含め検討が必要だ。まずは、地域の方が創設された民間保育園を大事にしなければならない。将来的には、民間保育園もこども園になっていただかなければいけないと思うが、近々の課題を公立園で解消していかなければいけないと思う。推計は待機児童を考慮して、中位推計でいいと思う。</p> <p>【委員】お互いの関係を密にすることが必要であり、町として、「2、3年後」や「将来的に」といった方針を打ち出した上で、民間保育園はどうするのかと聞かなければ、連携ができない。民間保育園の考えを大事にしながら、町としての柱を立てていかなければいけない。</p> <p>(3) 具体的な対策(案) 資料3のとおり</p> <p>■幼稚園の預かり保育について</p> <p>【委員】幼稚園の預かり保育について、早く取り組んでほしいという意見が多かったが、教育委員会はどう考えているのか。</p> <p>【事務局】早ければ、4月からの事業開始を検討しなければならないと考える。</p>

【委員】どのような検討を行うのか。

【事務局】幼稚園の預かり保育の定員や、保育時間を 16：30 までと考える場合には、職員にかかる費用の検討が必要となる。

【委員】幼稚園の預かり保育だから、保育園のように長時間になってはいけない。幼稚園の保護者の中でも仕事をしている人は多く、9：00 から 14：00 に合わせて働いている。一軒家を建てる人が多く、少しでも長く働きたいと思っている。幼稚園の預かり保育が始まれば、仕事をしたいと思っている人は多く、早く事業を開始してほしいという声もある。

【委員】民間園からは、「幼稚園の保護者は 9：00～14：00 という時間を了承して幼稚園に預けている。」という意見もあるが、入園後、子どもが増えたりして、経済的にも働かなければいけないという幼稚園の保護者はたくさんいる。保育所もすぐに入れない。9：00～14：00 だと仕事が見つからない。16：30 までになれば仕事を探す幅が広がり、保護者にとっては嬉しいことだと思う。

【委員】14：00 のお迎えまでの仕事を探しても見つからない。夕方までの仕事はあるが、幼稚園の保護者は諦めている。幼稚園の預かり保育があれば、働きたいと思う保護者は多く、仕事をできる可能性が広がると思う。

【委員】幼稚園の預かり保育は、保護者にとってニーズがあり必要だと思うが、未満児のことも考えなくてはならない。認定こども園や民間保育所での受入の検討が必要だ。民間保育園は地域の中で大きな役割を果たしてきたこともあり、民間保育園のことを一番に考えなければいけない。幼稚園の預かり保育が充実してしまうと、保護者が保育園を選ばなくなるかもしれないので、幼稚園の預かり保育と保育所との違いを保護者に説明しなければいけない。

■施設や定員について

【委員長】子どもが減少する中、民間保育所が町内に 5 園ある。公立保育所は 1 つ、公立幼稚園は 2 つある。施設数等はどうすればよいか。

【委員】公立幼稚園は定員割れしている。まずは、公立の 3 つの施設を 2 つにして、充実した園にしていくのがいいのではないか。それから、民間の意向を確認して、認定こども園にするほうがよいのではないか。

【委員】施設数は、子どもが減っていくから、2つに減らすほうがよいが、就労意欲のある保護者が多いことを考えて、どうしていくのかを考えたほうがよい。

【委員】幼稚園には、保育所に入れなかったから幼稚園を選んだという人が多い。幼稚園の預かり保育をしても、幼稚園に園児が流れることはないのではないか。幼稚園の定員については、余裕を持たせておき、公立幼稚園は保護者が希望すれば入れるようにしておかなければいけないと思う。

【委員長】公立施設を減らすことは今すぐにはできないが、幼稚園の預かり保育は急いでできる、急がなければいけないこと。

■保育士の確保、質の向上について

【委員】保育士の確保については、公立園の今年度の募集で、H9.4.2以降に生まれた人となっていた。子育てが終わった人が再度働きたいと思っているが、23歳以下という条件であり、残念。若い人だけでなく、一度経験された人を募集するのも、質の向上に繋がるのではないかと思う。

【委員長】保育の場には、若いだけでなく、子育て経験者など、いろいろな方が必要になってくる。

■民間保育園について

【委員】幼稚園の預かり保育は始めた方がよいと思うが、民間保育園とどのように折り合いをつけるのか。スムーズに始められるのか心配。

【事務局】民間保育園には、検討委員会の資料説明をしている。幼稚園の預かり保育を実施する場合には、預かる時間に差をもうけるなど、ご理解を求めていきたいと考える。

【委員】民間保育園も努力が必要。例えば、土曜保育を一日行うとか。お互いに歩み寄れるように、公立も民間も努力する。町としての方針を出し、民間も努力していただく点を打ち出せば、うまくいくのではないか。

■次回の委員会について

【事務局】第4回では、委員からいただいた意見をまとめ、素案を作り、その後、パブリックコメントを行う。